



健康フレフレ ますだ新聞

2023年
3月号

こんにちは！ナーシングホーム野里です♪

2月は旧正月ということで餅つき大会が開かれました。



職員と利用者様方と協力して餅をつき、立派なお餅ができました！

職員があんこを準備し、みんなで小豆餅を食べました。利用者様方も久しぶりのお餅で美味しいとたいへん喜ばれていました。



餅つきの後はみんなで正月の歌をうたい、旧正月をお祝いしました。

(ナーシングホーム野里 小鹿)

お知らせ

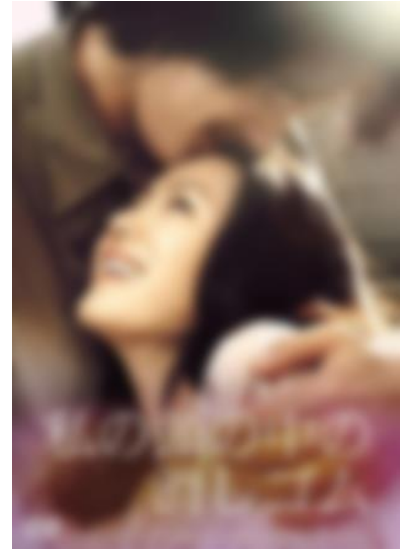
水曜日(午後)呼吸器外来
 3月 1日 牧口友紀医師
 3月 8日 田中寿志医師
 3月15日 当麻景章たいま医師
 3月22日 田中寿志医師
 3月29日 当麻景章医師

土曜日(午前)呼吸器外来
 3月 4日 田中寿志医師
 3月11日 石岡圭子医師
 3月18日 牧口友紀医師
 3月25日 当麻景章医師

広報部より
 新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にありますが、インフルエンザが流行している地域もあります。基本的な感染症対策を継続しましょう。
 (編集 大橋)

アルツハイマー病の治療薬

最近、アルツハイマー病の治療薬が開発されたとのニュースが出ております。アルツハイマー病は1906年にドイツのアロイス・アルツハイマーによって初めて報告されました。認知症の60-70%をしめると言われる原因不明の病気で高齢者に多いのですが稀に若い人にも発症し早発性アルツハイマー病と言われます。初発症状は記憶障害で経過は緩やかですが確実に進行するとされています。アルツハイマー病の薬物療法としてアルツハイマー病ではアセチルコリンの活性が低下していることからコリンエステラーゼ阻害薬などこれまでいくつかの薬が使われていますが、劇的な改善は期待できず進行を抑える程度と認識されています。今年の1月に日本の製薬会社であるエーザイとアメリカのバイオジェン社が共同開発した薬がアメリカ食品医薬品局に承認されたことが発表されました。アルツハイマー病はアミロイドベータという異常なタンパク質が脳内に蓄積することで神経細胞が傷つき認知機能が低下することが知られていますが、この新薬は脳内のアミロイドベータを除去する働きがあり臨床試験では薬の使用群は非使用群に比べて症状の悪化が27%抑制され、これは病気の進行を7ヶ月半遅らせる効果とのことです。アメリカでの薬価は患者一人1年間で約350万円とされており、日本で使用できるのはまだ先になりそうですが、薬価などまだまだ解決すべき点は多そうです。



『私の頭の中の消しゴム』
今、人気のソン・イエジンさんが
早発性アルツハイマー病患者を
演じた韓国映画です。

(内科医師 山辺英彰)